

124	「先生の取組が日本中に広まるとハッピーになる生徒が増える」と言ってくれた生徒がいること	125	1位にはなれなかったけれど、合唱コンクールに向けての練習を途中うまくいかず頭を抱えることもありながら、最後まで頑張りあった生徒たちが心に残っています。	126	2年生で担任をして、その後5.6年生の担任をした子どもたちです。小学校生活の半分を一緒に過ごした子たちなのでたくさん思い出ができました。6年生の時には、2年生の頃は「こんなだったな」と話をしてくれたので、昔を思い出している子どもたちもかわいかったです。	127	いつもニコニコお話をしに来てくれる子
128	教師になって、初めて送り出した子どもたち。すべてが思い出で、まだまだ教師として未熟だった私と一緒にお互いたくさんの事を学べた1年だったと思う。そんな彼らも社会人となって、同じ教師となった子たちが数名いて、その保護者からよろしくお祈りしますと連絡が来たときは本当に嬉しかった。この子たちのことを思い出すと『今』を本当にがんばることができる。	129	コロナ禍でも立ち止まりいつも元気に挨拶してくれる事に幸せを感じます。	130	スクールサポーターとして働いている時の出来事です。当時4年生のHくんは家庭環境があまり良くなく、関わり出した時は全然相手にされず教室で授業を受けることをすごく嫌がっていました。そこで、他愛無い世間話からゲームなどの話を日々していくことで、だんだんと心を許してくれました。そして、スクールサポーターの最終日には、お互いに別れが寂しいのか、少し不安定になり、教室に入らず図書室で一人で考え込んでしまいました。ここまで思ってくれていたんだとすごく嬉しくなり、休み時間はずっとHくんと楽しく遊ぶことにしました。	131	勤め始めの頃、たった12人の3年のクラスを担当をしたとき、1人だけ鉄棒の逆上がりができない児童がいました。みんなまで応援し、休み時間も放課後も一緒に練習して出来るようになりました。その成功体験がその子の頑張りの源になり、いろいろなことに挑戦して、頑張っていると聞き、私にとっても教師としての原点を思いだす体験になっています。
132	たくさんいますが、書いている余裕がありません。	133	へき地校の子どもたちが記憶にも、心にも残っています。友達や周りの人との関わりが濃く、共に歩んでいる感が凄かったです。人が好きで、そのことを恥ずかしがらず、思いっきり表現していました。	134	みんな、とても、素直です。事務室のコピー機を使いに来ますが、必ず、お礼を言ってから出て行きます。台所のお茶を飲みに来ますが、きちんとお礼を言って、出て行きます。	135	英語でインタビューに職員室まで来てくれる児童に癒されます？
136	音楽の時間一生懸命歌う姿が心に残っています。	137	楽しく勉強やクラブに一生懸命取り組んでいる姿	138	コップの水を廊下にこぼしてしまい、それを自分のハンカチで拭いていた子ども。ぞうきんで拭いたらいいんだよ。と声をかけてしまいました。	139	たくさんいて書けません。
140	現在勤める小学校で2年連続で一年生の担任をしています。その中で私は合言葉のように「自分のことが先か、みんなのことが先かを考えなさい。」と言ってきました。その言葉を素敵だなあ大事だなあと思ったら子どもたちは、今も口々にそな言葉を言って、自分のことよりも友達や仲間を最優先する子供たちが私の心には残り続けています。	141	口癖が「どうしてえー」という児童がいました。何かあれば、担任を呼ぶ姿もありました。日々の関わりの中で、できることも増えていくと同時に友達も増えていきました。そうして、「どうしてえー」と言う前に周りにいる友達が駆け寄り「こうするんだよ。」と優しく接する姿が今も心に残っています。	142	初任で初めて受け持った子どもたちです。初めての学級担任でいろいろうまくいかず、泣きながら学校に通った時期もありました。若い担任で保護者の方も心配されたと思いますが、支えてくれる保護者の方もいっしょに、助けられました。子どもたちも、若い先生を助けようと、3.4年生なりに一生懸命支えてくれました。いろんなパーティーを計画して楽しんだのが良い思い出です。今でも交流があり、成人の日が集まったり、私の結婚式の二次会で演奏を披露してくれたり、子供が産まれたときには産院までお見舞いに来てくれるなど、今でも繋がりを持っていることが何よりの幸せです。	143	最後に勤務した五條高等学校校定時制の生徒諸君との出会いです。様々な家庭環境や生活背景を持ちながらなんとか高校卒業の資格を得ようと頑張っている姿にこちらが元気をもらいました。最後の一年は新型コロナウイルス感染症に翻弄され、通常とは違った学習活動となってしまったのが残念でなりません。五條高等学校校定時制は、この3月末で閉校となりますが最後の卒業生となる4名の生徒には、素晴らしい思い出とともに無事に卒業式を迎えてほしいです。

144	私が初めて担任を持ったクラスの子もたちです。特別支援学級の子もたちで少人数でありながら、配慮することが多いえ、コロナ禍という事もあって悩む日々でした。そんな中でも考えて、交流学級でどのように交流するか、どのように関係を持つのか、できることをがんばりました。そうする事で、子どもたちは成長してくれたと思います。初めての担任で迷惑ばかりかけていたと思いますが、すごく頑張ってくれたとていい子たちだったなと思います。	145	事務職員である私達の立場では、直接的に接点があることは、あまり多くはないですが、保護者を介して、子どもたちの心配事や成長を感じさせていただく機会があります。特別支援の子もたちとは、入学時から、関わることもあり、卒業式のタイミングで親子一緒に、成長したね、って一緒にポロポロ泣いたことを覚えています、	146	自分が教諭1年目で担任した四年生の子も達です。やんちゃな子達で、自分がまだ未熟であったこともあり、しかってしまふことが多かったです。日々悩みながら子ども達と過ごしていたことを覚えています。家庭訪問などもたくさんしました。そうして1年が過ぎ、もっとたくさんしてあげられることがあったのではないかなと自問自答の日々でした。子どもたちが6年生になり、いよいよ卒業間近になったころのことです。その時は別の学年を担任していました。給食の時間に6年生の子もたちが作文を読むことがありました。そのときに、一番やんちゃだった男の子が、私の名前を呼んで、ありがとうと感謝の気持ちを伝えてくれました。思ってもいないことであつたので、ついウルツときてしまいました。その時は本当にうれしかったです。	147	双子の姉妹さんで小さい頃は本当に家庭でも大変だったと思います。そこから成長され今では落ち着いて更に成長されています。双子で進路は別々の道を沢山考えましたが結局同じ所で進路を選びました。今では無事成人され久しぶりに会えると楽しみにしていた所、参加の中でコロナの陽性があり、あえなく中止されました。メッセージは送らせてもらいましたが、落ち着いたらあかつきには直接お会いしようと保護者さんと約束しました。コロナは人の再開までも遮り、人に多大な影響を与えています。教弘さんやジブラルタさんともお話やお会いすら出来なくなりました。色々な相談も直接時間を合わせてもらいお話をさせてもらいました。子どもたちには本当に可哀想なことをしています。コロナ禍の中でも少しでも楽しいことが出来るよう、私は何か取り組めることを毎日考えています。子どもたちがのびのびと生活ができるよう、手洗い、手指消毒、マスク、換気等など頑張りたいと思います。
148	初めて担任した3年生。いろいろ至らないことがありましたが、保護者の方も温かく見守ってくださり、今思えば本当に有り難かったなと思います。	149	高校を自主退学し、プロボクサーを目指し、がんばった後に、副住職になった生徒が印象に残っています。	150	進路目標に向けて頑張った生徒	151	前任校での部活動の部員たち。私は全く経験のない競技の顧問であつたにも関わらず、キラキラした目でちゃんと話も聞いてくれて、OB会には毎年たくさんの卒業生が参加してくれた子たちが私にとって一番の宝物です。
152	手伝ってくれるととても良い子どもたち	153	卒業し、成長した姿で後輩にソフトテニスを教えてくれる。	154	卒業後も連絡をしてくる生徒ですね	155	卒業式で手紙をくれました。
156	誰もが無限の可能性がある。	157	朝のスピーチで自分の家でできごとを、照れたりすることなく堂々と話せるようになった子どもたち。「わたしもそんなことある」と感想まで言い合えるようになり立派です。	158	特別支援で教えた子どもたち全部です。	159	僻地の学校に勤務しているときに、幼稚園からずっと同じ時間を過ごしている子どもたちが、多くの言葉を発しなくても意思疎通をしていたこと。その様子は「テレパシーが使えるのか。」と思うほどでした。多くの時間を共に過ごす事で、これほどまでに相手のことを理解できるのだと感心しました。
160	毎日元気に登校する姿が、心に残ります。当たり前毎日が、心に残ります。	161	野迫川村は銀世界です。そんな中で自ら楽しんで雪と戯れる子どもたちの姿がとても美しいです。				